



配配メールコネクタ

配配メール Salesforce 連携
連携設定マニュアル
(接続アプリケーション使用時)

目次

はじめに	2
本マニュアルについて	2
コネクタでできること	2
連携を行うための手順	2
第1章 事前準備	3
1.1 事前準備 配信メール	4
1.1.1 API トークンの発行	4
1.2 事前準備 Salesforce	5
1.2.1 事前準備の流れ	5
1.2.2 コード交換の証明鍵 (PKCE) 拡張の無効化	6
1.2.3 接続アプリケーションの作成	7
1.2.4 連携トークンの有効期限の設定	13
1.2.5 コンシューマ鍵、コンシューマの秘密の発行	16
1.2.6 プロファイルの作成	18
1.2.7 連携用ユーザへのプロファイル割り当て	21
1.2.8 「配信停止禁止顧客連携」連携先項目の追加	22
1.2.9 「顧客閲覧 URL 連携」連携先項目の追加	22
第2章 操作手順	23
2.1 コネクタの設定	24
2.1.1 ログイン	24
2.1.2 パスワード変更	24
2.1.3 配信メール-Salesforce 連携 設定手順	25
2.2 連携の実行	26
2.3 ログアウト	26
付録	27
付録6 注意事項	28
6.1 Salesforce の連携トークンの更新	28

はじめに

本マニュアルについて

本マニュアルは、『配配メールコネクタ』の「Salesforce 連携」のうち、

- ・『Salesforce』にて「接続アプリケーション」を作成し連携を行う場合の手順

(2026 年 2 月更新前)

について記載しております。

※ 2026 年 2 月に、「外部クライアントアプリケーション」を使用する手順にて
マニュアルの更新を行っております。

旧来の「接続アプリケーション」を使用する手順と、

変更された「外部クライアントアプリケーション」を使用する手順とで

共通となる事項については、最新のマニュアルをご確認ください。

コネクタでできること

マニュアル「配配メールコネクタ_配配メール-Salesforce 連携」をご参照ください。

連携を行うための手順

マニュアル「配配メールコネクタ_配配メール-Salesforce 連携」をご参照ください。

第 1 章 事前準備

1.1 事前準備 配配メール

『配配メール Salesforce 連携』を行うために、『配配メール』の事前準備を行います。

1.1.1 API トークンの発行

マニュアル「配配メールコネクタ_配配メール-Salesforce 連携」をご参照ください。

1.2 事前準備 Salesforce

『配信メール Salesforce 連携』を行うために、『Salesforce』の事前準備を行います。

1.2.1 事前準備の流れ

- ・コード交換の証明鍵（PKCE）拡張の無効化

コード交換の証明鍵（PKCE）拡張を無効化します。

- ・接続アプリケーションの作成

『配信メールコネクタ』から『Salesforce』にアクセスする際に必要となります。

『配信メールコネクタ』からは、「接続アプリケーション」から発行された「連携トークン」を使用して各種連携処理を行います。

- ・連携トークンの有効期限の設定

『配信メールコネクタ』において使用する、『Salesforce』の「連携トークン」の有効期限を設定します。

- ・コンシューマ鍵、コンシューマの秘密の発行

「連携トークン」の発行、更新に必要な「コンシューマ鍵」、「コンシューマの秘密」を発行します。

- ・プロフィールの作成

『配信メールコネクタ』の連携処理にて必要となる、Salesforce 操作の権限設定を行います。

- ・連携用ユーザへのプロフィール割り当て

『配信メールコネクタ』の連携処理にて使用する、『Salesforce』のユーザに対しプロフィールを割り当てることで、

『配信メールコネクタ』が必要な操作を行うことができるようにします。

- ・「配信停止禁止顧客連携」連携先項目の追加

- ・「顧客閲覧 URL 連携」連携先項目

それぞれ、『配信メール』からのデータ連携先となる、Salesforce オブジェクトの項目を作成します。

※ 各種 Salesforce の設定変更作業は、システム管理者権限を持つユーザにて実施してください。

1.2.2 コード交換の証明鍵（PKCE）拡張の無効化

コード交換の証明鍵（PKCE）拡張を無効化します。

以下の手順にて設定の解除を行います。

- ・ 『Salesforce』へログインし、設定メニューを開きます。
- ・ 設定画面の左側メニュー部分にて
「設定 > ID > OAuth および OpenID Connect 設定」の順にクリックします。
OAuth および OpenID Connect 設定画面が開きます。



- ・ 「OAuth および OpenID Connect フロー」の
「サポートされている認証フローにはコード交換の証明鍵（PKCE）が必要です」を
オフの状態にします。

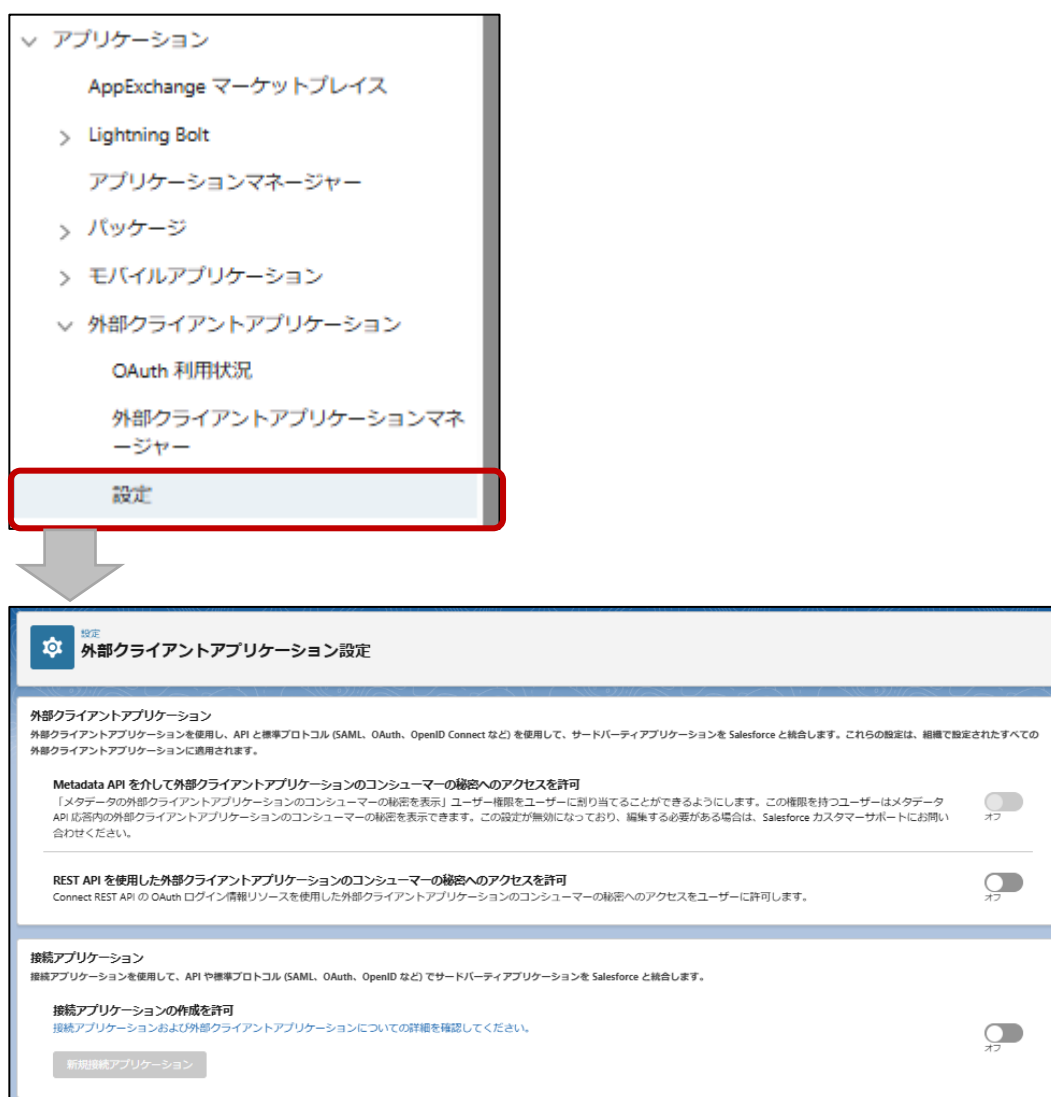


以上で「コード交換の証明鍵（PKCE）拡張の無効化」は完了となります。

1.2.3 接続アプリケーションの作成

『配配メールコネクタ』から『Salesforce』にアクセスする際に必要となる、「接続アプリケーション」を作成します。以下の手順にて作成を行います。

- ・『Salesforce』へログインし、設定メニューを開きます。
- ・設定画面の左側メニュー部分にて、
「プラットフォームツール > アプリケーション > 外部クライアントアプリケーション > 設定」の順にクリックします。
外部クライアントアプリケーション設定画面へ遷移します。



- ・画面下部、「接続アプリケーション > 接続アプリケーションの作成を許可」の右側をクリック、子画面の「有効化」をクリックし、「オン」の状態へ変更します。

接続アプリケーション
接続アプリケーションを使用して、API や標準プロトコル (SAML、OAuth、OpenID など) でサードパーティアプリケーションを Salesforce と統合します。

接続アプリケーションの作成を許可
[接続アプリケーションおよび外部クライアントアプリケーションについての詳細を確認してください。](#)

新規接続アプリケーション

オフ



接続アプリケーションの作成を有効にしますか?

接続アプリケーションの作成を有効にすると、開発者は [新規接続アプリケーション] ボタンを使用して接続アプリケーションを作成できます。

キャンセル 有効化



接続アプリケーション
接続アプリケーションを使用して、API や標準プロトコル (SAML、OAuth、OpenID など) でサードパーティアプリケーションを Salesforce と統合します。

接続アプリケーションの作成を許可
[接続アプリケーションおよび外部クライアントアプリケーションについての詳細を確認してください。](#)

新規接続アプリケーション

オン

- ・クリック可能になった「新規接続アプリケーション」部分をクリックします。

接続アプリケーション
接続アプリケーションを使用して、API や標準プロトコル (SAML、OAuth、OpenID など) でサードパーティアプリケーションを Salesforce と統合します。

接続アプリケーションの作成を許可
[接続アプリケーションおよび外部クライアントアプリケーションについての詳細を確認してください。](#)

新規接続アプリケーション

- ・ 以下設定を行います。

基本情報 部分

接続アプリケーション名 「App_HaihaiConnect」と入力

API 参照名 「App_HaihaiConnect」と入力

取引先責任者 メール (お客様における Salesforce 管理者のメールアドレス。
後続の処理にてメールを受信できることが必要です)

API (OAuth 設定の有効化) 部分

OAuth 設定の有効化

チェックを入れる

コールバック URL

配属メールコネクタの URL + /sflogged を入力

例: 配属メールコネクタの URL が

<https://hai2-connect.qanat-universe.com/●●●●/> の場合

<https://hai2-connect.qanat-universe.com/●●●●/sflogged>

選択した OAuth 範囲

以下が「選択した OAuth 範囲」に設定されるよう操作

- ・ API を操作してユーザデータを管理 (api)
- ・ いつでも要求を実行 (refresh_token, offline_access)



各チェックボックス

以下をチェックありにて設定する

- ・ Web サーバフローの秘密が必要

以下をチェックなしにて設定する

- ・ サポートされる認証フローに Proof Key for Code Exchange (PKCE) 拡張を要求
- ・ 更新トークンフローの秘密が必要
- ・ クライアントログイン情報フローを有効化
- ・ 認証コードおよびログイン情報フローを有効化
- ・ トークン交換フローを有効化
- ・ 更新トークンのローテーションを有効化
- ・ 指名ユーザーの JSON Web トークン (JWT) ベースのアクセストークンを発行
- ・ すべてのトークンを調査
- ・ ID トークンを設定
- ・ アセットトークンを有効化
- ・ シングルログアウトを有効化

サポートされる認証フローに Proof Key for Code Exchange (PKCE) 拡張を要求	<input type="checkbox"/>
Web サーバフローの秘密が必要	<input checked="" type="checkbox"/>
更新トークンフローの秘密が必要	<input type="checkbox"/>
クライアントログイン情報フローを有効化	<input type="checkbox"/>
認証コードおよびログイン情報フローを有効化	<input type="checkbox"/>
トークン交換フローを有効化	<input type="checkbox"/>
更新トークンのローテーションを有効化	<input type="checkbox"/>
指名ユーザーの JSON Web トークン (JWT) ベースのアクセストークンを発行	<input type="checkbox"/>
すべてのトークンを調査	<input type="checkbox"/>
ID トークンを設定	<input type="checkbox"/>
アセットトークンを有効化	<input type="checkbox"/>
シングルログアウトを有効化	<input type="checkbox"/>

- ・ 設定後、画面最下部の「保存」をクリックします。

設定
アプリケーションマネージャ

別のユーザとして実行

モバイルアプリケーション設定

モバイル開始 URL

PIN 保護

アプリケーションプラットフォーム

デバイス種別に限定

アプリケーションバージョン

最小 OS バージョン

非公開アプリケーション

アプリケーションバイナリ URL

プッシュメッセージング有効

通知種別の登録を有効化

キャンパスアプリケーション設定

キャンパス

保存 キャンセル

- 以下の画面が出現する場合は、「次へ」をクリックします。

設定
アプリケーションマネージャ

新規接続アプリケーション

変更が有効になるまで最大 10 分かかる場合があります。親組織を削除すると、OAuth 設定が有効になっているすべての接続組織も削除されます。

次へ キャンセル

- 以下の画面が表示されます。設定内容が保存されたことを確認します。

接続アプリケーション名
App_HaihaiConnect

< リストに戻る: カスタムアプリケーション

編集 削除 Manage 外部クライアントアプリケーションに移行

変更が有効になるまで最大 10 分かかる場合があります。親組織を削除すると、OAuth 設定が有効になっているすべての接続組織も削除されます。

API 参照名	App_Haihai20250702
作成日	2025/07/02 14:46
取引先責任者 メール	[Redacted]
取引先責任者 電話	[Redacted]
最終更新日	2025/07/02 14:46
コメント作成者	[Redacted]
説明	情報 URL

- ※ 「接続アプリケーション」の新規保存時や、設定を変更し保存する際に、変更が有効になるまで最大 10 分かかる場合があります。
『Salesforce』の設定保存後、少し時間をおいてから、以降の操作を行ってください。

以上で「接続アプリケーション」の作成は完了となります。

1.2.4 連携トークンの有効期限の設定

次に、「接続アプリケーション」における「連携トークン」の有効期限を設定します。

以下の手順にて設定を行います。

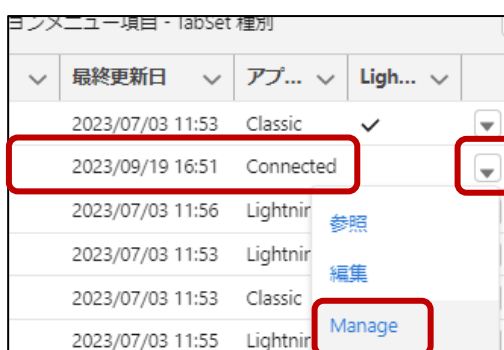
- ・設定画面の左側メニュー部分にて、
「プラットフォームツール > アプリケーション > アプリケーションマネージャ」の順に
クリックします。アプリケーションマネージャ画面が開きます。



- ・「1.2.3 接続アプリケーションの作成」にて作成した、「App_HaihaiConnect」を
検索します。



- 画面右側へスクロールし、「App_HaihaiConnect」の行の右端にある、「▼」をクリック、
「Manage」をクリックします。



- ・ 次の画面で「ポリシーを編集」をクリックします。編集画面へ移動します。



- ・ 以下設定を行います。

「OAuth ポリシー」部分

更新トークンポリシー

- ・ 「更新トークンは取り消されるまで有効」 を選択

更新トークンポリシー:

更新トークンは取り消されるまで有効

更新トークンを直ちに期限切れにする

次で使用されていない更新トークンを期限切れにする 日

次の時間が経過したら更新トークンを期限切れにする 日

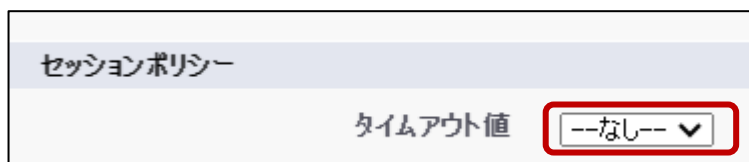
※ 上記以外の設定の場合、

「配信メールコネクタ」が正常に稼働しなくなる可能性があります。

セッションポリシー 部分

タイムアウト値

- ・「なし」を選択



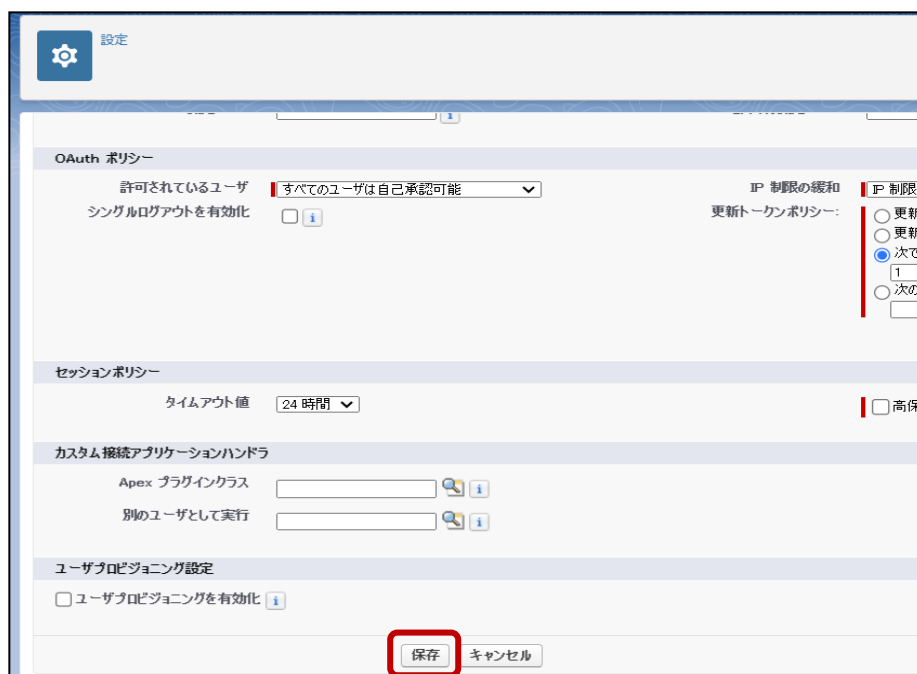
セッションポリシー

タイムアウト値 **なし**

※ 上記以外の設定の場合、

「配信メールコネクタ」が正常に稼働しなくなる可能性があります。

- ・ 設定後、画面最下部の「保存」をクリックし、設定内容を保存します。



設定

OAuth ポリシー

許可されているユーザー **すべてのユーザーは自己承認可能**

シングルログアウトを有効化

IP 制限の緩和

更新トークンポリシー: 更新 更新 次で 次の時

セッションポリシー

タイムアウト値 **24 時間**

カスタム接続アプリケーションハンドラ

Apex プラグインクラス

別のユーザーとして実行

ユーザープロビジョニング設定

ユーザープロビジョニングを有効化

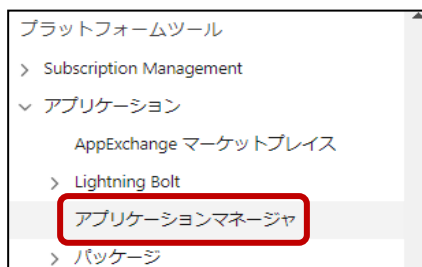
保存 キャンセル

以上で「連携トークンの有効期限の設定」は完了となります。

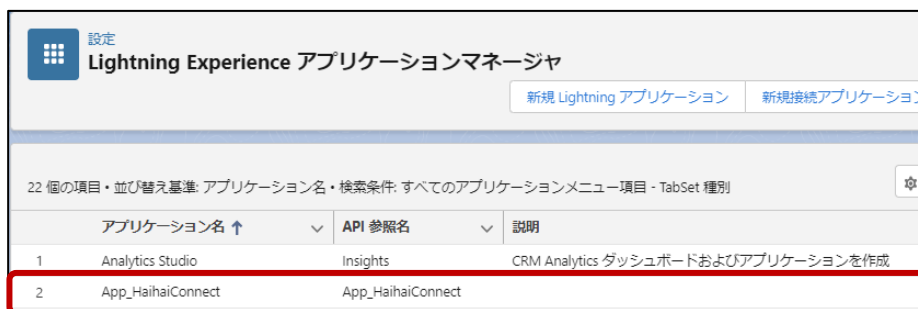
1.2.5 コンシューマ鍵、コンシューマの秘密の発行

次に、「連携トークン」の発行、更新に必要となる「コンシューマ鍵」、「コンシューマの秘密」を発行します。以下の手順にて発行作業を行います。

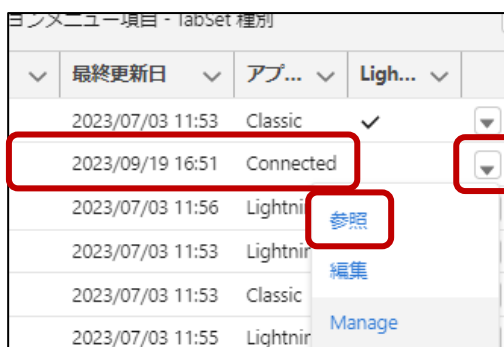
- ・設定画面の左側メニュー部分にて、
「プラットフォームツール > アプリケーション > アプリケーションマネージャ」の順にクリックします。アプリケーションマネージャ画面が開きます。



- ・「1.2.3 接続アプリケーションの作成」にて作成した、「App_HaihaiConnect」を
検索します。



- 画面右側へスクロールし、「App_HaihaiConnect」の行の右端にある、「▼」をクリック、
「参照」をクリックします。



- ・ API (OAuth 設定の有効化) にある、「コンシューマの詳細を管理」をクリックします。

設定
接続アプリケーションを管理する

接続アプリケーション名
App_HaihaiConnect

< リストに戻る カスタムアプリケーション

編集 削除 Manage

バージョン 1.0
API 参照名 App_HaihaiConnect
作成日 2023/09/19 12:07
コメント作成者: [REDACTED]

取引先責任者 メール [REDACTED]
取引先責任者 電話 [REDACTED]
最終更新日 2023/09/19 12:11
コメント作成者: [REDACTED]

説明
情報 URL

▼ API (OAuth 設定の有効化)

コンシューマキーと秘密
コンシューマの詳細を管理

選択した OAuth 範囲
API を使用してユーザーデータを管理 (api)
いつでも要求を実行 (refresh_token, offline_access)

- ※ Salesforce のシステム管理者宛てに、確認コードを含むメールが送信される場合があります。その際は受信メールを確認し、確認コードの入力を行ってください。

ID を検証

Salesforce にログインしようとしています。Salesforce アカウントの安全性を確保するために、ID を確認する必要があります。

[REDACTED]@*****co.jp にメール送信された確認コードを入力します。

確認コード

[REDACTED]

検証

次回からは確認しない
コードを再送信

- ・ 表示された「コンシューマ鍵」、「コンシューマの秘密」を控えます。

『配配メールコネクタ』の連携設定を行う際に指定します。

接続アプリケーション名
App_HaihaiConnect

< [接続アプリケーションを管理する] に戻る

顧客の詳細

コンシューマ鍵 [REDACTED] コピー

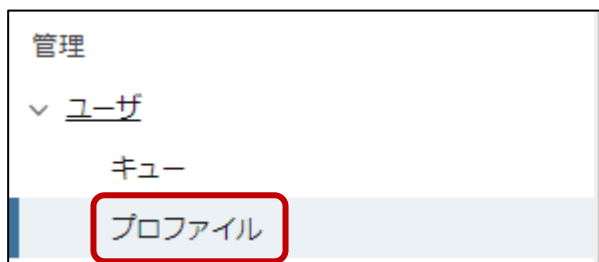
コンシューマの秘密 [REDACTED] コピー

以上で「コンシューマ鍵、コンシューマの秘密の発行」は完了となります。

1.2.6 プロファイルの作成

『配配メールコネクタ』において、『Salesforce』のAPIを実行するユーザに対し各種権限を割り当てるための「プロファイル」を作成します。以下の手順にて作成を行います。

- ・設定画面の左側メニュー部分にて、「管理 > ユーザ > プロファイル」の順に選択します。



- ・プロフィール設定画面にて、「新規プロフィール」をクリックします。



- ・以下設定を行い、「保存」をクリックします。新たにプロフィールが作成されます。

既存のプロファイル

「システム管理者」を選択

プロフィール名

「プロフィール_配配メール」を入力

プロフィールのコピー

プロフィール名を入力してください。

コピーをする既存のプロファイルを選択してください。

既存のプロファイル | システム管理者

ユーザーライセンス | Salesforce

プロフィール名 | プロフィール_配配メール

保存 | キャンセル

続けて、作成した「プロフィール_配配メール」の設定変更を行います。

- ・プロフィールの一覧画面にて、「プロフィール_配配メール」横の「編集」をクリックします。

<input type="checkbox"/>	編集 削除...	プロフィール_配配メール

- ・「接続アプリケーションへのアクセス」の設定変更を行います。

「1.2.2 接続アプリケーションの作成」にて作成した、

「App_HaihaiConnect」にチェックを入れます。

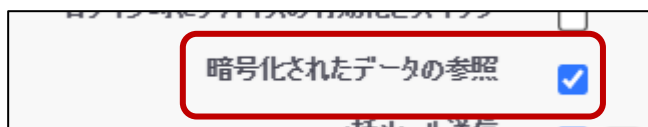
接続アプリケーションへのアクセス

App_HaihaiConnect

- ・「一般ユーザ」部分の設定変更を行います。

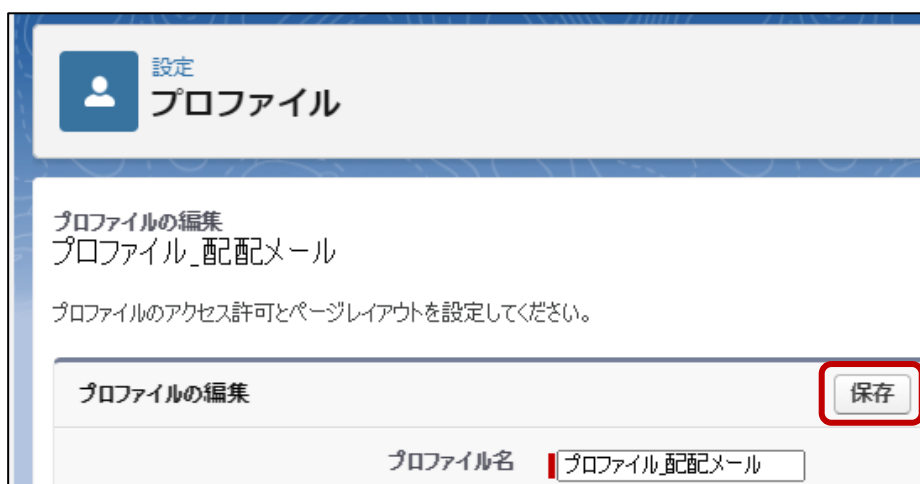
「暗号化されたデータの参照」にチェックを入れます。

※ 暗号化項目を複合し、『配信メール』へ連携するために必要な設定となります。



- ・設定内容を保存します。

「保存」をクリックし、設定内容を保存します。



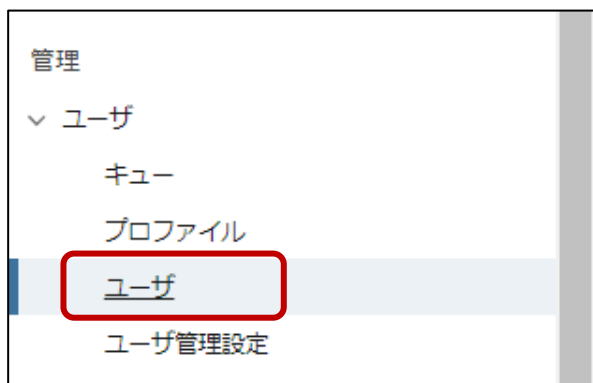
以上でプロフィールの作成は完了です。

・

1.2.7 連携用ユーザへのプロフィール割り当て

『配配メールコネクタ』において、『Salesforce』のAPIを実行するユーザに対し作成した「プロフィール」を割り当てます。以下の手順にて設定を行います。

- ・設定画面の左側メニュー部分にて、「管理 > ユーザ > ユーザ」の順に選択します。



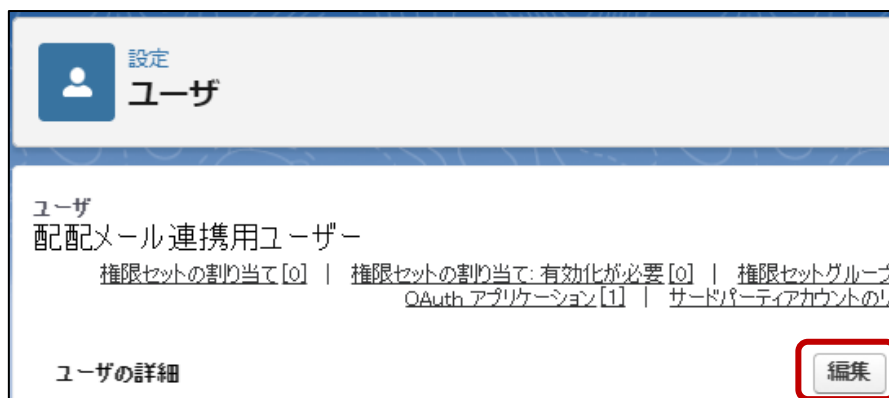
- ・必要に応じて、『配配メールコネクタ』の連携にて使用するユーザを作成します。

※ ユーザ作成には、Salesforce のユーザライセンスが必要になります。

- ・「配配メールコネクタ」の連携にて使用するユーザに、作成したプロフィールを割り当てます。
 - ・「氏名」部分をクリックし、詳細画面へ移動します。



- ・「編集」をクリックします。



- ・以下の設定変更を実施し、「保存」をクリックします。

ユーザライセンス

「Salesforce」を選択

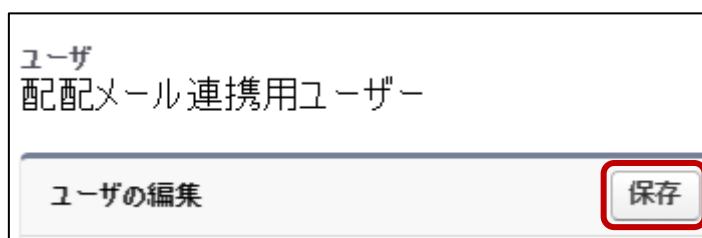
プロファイル

「プロファイル_配配メール」を選択

(1.2.6 「プロファイルの作成」にて作成したプロファイル)



ロール	<未指定>
ユーザライセンス	Salesforce
プロファイル	プロファイル_配配メール



ユーザ 配配メール連携用ユーザー	
ユーザの編集	保存

以上で、連携用ユーザへのプロファイル割り当て作業は終了となります。

1.2.8 「配信停止禁止顧客連携」 連携先項目の追加

マニュアル「配配メールコネクタ_配配メール-Salesforce 連携」をご参照ください。

1.2.9 「顧客閲覧 URL 連携」 連携先項目の追加

マニュアル「配配メールコネクタ_配配メール-Salesforce 連携」をご参照ください。

第 2 章 操作手順

2.1 コネクタの設定

『配信メールコネクタ』より『配信メール』『Salesforce』の連携設定を行います。

2.1.1 ログイン

マニュアル「[配信メールコネクタ_配信メール-Salesforce 連携](#)」をご参照ください。

2.1.2 パスワード変更

初回ログイン時に、パスワード変更を行います。

マニュアル「[配信メールコネクタ_配信メール-Salesforce 連携](#)」をご参照ください。

2.1.3 配配メール-Salesforce 連携 設定手順

「配配メール-Salesforce」連携の設定を行います。

「接続アプリケーション」を使用して連携を行う場合、
マニュアル「配配メールコネクタ_配配メール-Salesforce 連携」のうち、
以下部分を読み替えてください。

・手順5 「「Step3. Salesforce 連携設定」として、以下の操作を行います。」

① 部分

コンシューマ鍵

「1.2 事前準備 Salesforce」の

手順「1.2.5 コンシューマ鍵、コンシューマの秘密の発行」にて発行、確認した

「コンシューマ鍵—」を入力します。

コンシューマの秘密

「1.2 事前準備 Salesforce」の

手順「1.2.5 コンシューマ鍵、コンシューマの秘密の発行」にて発行、確認した

「コンシューマ—の秘密」を入力します。

いずれも、接続アプリケーション「App_HaihaiConnect」における
「コンシューマの詳細を管理」をクリックした際に確認した
「コンシューマ—鍵」「コンシューマ—の秘密」を入力してください。

※ 他部分については、差異はありません。

2.2 連携の実行

マニュアル「[配信メールコネクタ_配信メール-Salesforce 連携](#)」をご参照ください。

2.3 ログアウト

マニュアル「[配信メールコネクタ_配信メール-Salesforce 連携](#)」をご参照ください。

付録

付録 6 注意事項

マニュアル「配配メールコネクタ_配配メール-Salesforce 連携」における

「付録 6 注意事項」の以下部分を読み替えてください。

※ 記載のないものについては、差分はありません。

6.1 Salesforce の連携トークンの更新

「Salesforce の連携トークンの更新」操作時にエラーが発生した場合、

以下の事象に該当しているかどうかをご確認ください。

※ 設定確認後、再度実行してもエラーが解消されない場合は、
お手数ですがサポートまでご連絡ください。

・全般

『Salesforce』の設定後、変更が有効になるまで数十分時間を要する場合があります。

『Salesforce』の設定保存後少し時間をおいてから、再度操作を行ってください。

・『Salesforce』のログイン画面が表示されず、

「error=redirect_uri_mismatch」との文言が表示されている



原因その 1 :

「1.2.3 接続アプリケーションの作成」にて指定した

「アプリケーション設定 コールバック URL」が正しくない場合に発生します。

対応その 1 :

「アプリケーション設定 コールバック URL」の指定を見直してください。

原因その 2 :

『配配メールコネクタ』の連携設定画面における

「Step3. Salesforce 連携設定 > Salesforce URL」が

「lightning.force.com」形式となっている場合に発生します。

対応その2：

「●●●●.salesforce.com」形式の URL を入力してください。

URL の確認方法は

マニュアル「配配メールコネクタ_配配メール-Salesforce 連携」における

「2.1.3 配配メール-Salesforce 連携 設定手順」を参照してください。

- ・『Salesforce』のログイン画面が表示されず、
「error=invalid_client_id」との文言が表示されている



原因：

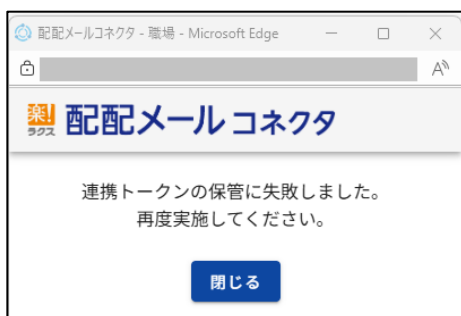
『配配メールコネクタ』の連携設定画面にて入力されている

「コンシューマ鍵」もしくは「コンシューマの秘密」が正しくない場合に発生します。

対応：

「1.2.5 コンシューマ鍵、コンシューマの秘密の発行」を参照し、再度コンシューマ鍵とコンシューマの秘密を確認してください。

- ・『Salesforce』へのログイン処理は成功するものの、
次の画面にて「連携トークンの保管に失敗しました。再度実施してください」と表示される



エラーの理由が子画面の URL 中にて表現されている場合があります。

この子画面の URL をご確認ください。

・ URL 末尾に

「error=invalid_request&error_description=missing%20required%20code%20challenge」

が含まれる場合

原因：

「コード交換の証明鍵（PKCE）拡張」が有効化となっているため、
処理がエラーとなっている可能性があります。

対応：

「1.2.2 コード交換の証明鍵（PKCE）拡張の無効化」を参照し、
コード交換の証明鍵（PKCE）拡張を無効化してください。

配信メールコネクタ 配信メール Salesforce 連携設定マニュアル
(接続アプリケーション使用時)

2026 年 02 月 16 日 第 1 版

JBCC 株式会社

本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部あるいは一部に関して、JBCC 株式会社からの文書による許諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられています。また、本書はユーザーへ通知することなく変更される場合があります。